

受講料
無料

“子どものつづやき”

“多様性”

“心と身体”

“子ども”

“インクルーシブ教育”

“あそびと環境”

“キャリア形成”

『すべての子どもに質の高い教育を』
保育者と特別支援教育関係者のための
特別セミナー開催

令和2年 11月～12月の毎週土曜日

(全7回 13:40~15:20 開講) 1回 100分

場所：九州産業大学3号館

対象：幼稚園、保育所、認定こども園、特別支援学校等で勤務する方

問い合わせ先：九州産業大学 大学改革推進室(リカレント教育プレ企画担当)

TEL：092-673-5178

【お申込み方法】 ※申込み〆切：10月16日(金)

本用紙に必要事項を記入して、FAXにてお申込みください。なお、下記QRコードを読み取り、インターネットでもお申し込みいただけます。

【FAX 申込書】 FAX：092-673-5165 (リカレント担当)

(ふりがな)
お名前：

TEL(携帯電話)：

郵便番号・ご住所：〒

勤務先(経験年数)：

メールアドレス：

受講希望(希望回にチェックをお願いします)

すべて(①~⑦) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



11/7 (土)

開講式 本セミナーの目指すもの

子ども教育学科主任

鐘ヶ江 淳一 教授

11/7 (土)

① 子どものつぶやきから幼児教育・保育を考える
(終了後:「子育て支援室」を見学)

子ども教育学科

森 暢子 准教授

子育て支援室

森 美保子 室員

私たち幼児教育・保育にかかわる者は、日々の暮らしの中で“子どものつぶやき”を素敵だな、面白いなと受け止める感性とまなざしを持った大人でありたいものだと考えています。子どもを取り巻く環境・社会が大きく変容し続けている中で、“子どものつぶやき”から改めて日々の実践を考えていきたいと思えます。

11/14 (土)

② 主体性を育てる心と身体の健康づくり

子ども教育学科

田中 沙織 准教授

子どもが、日々の豊かな「出会い」を通して学びを深めていくためには、健康な心と身体が欠かせません。現代社会の多様な生活背景の下、子どもが抱える課題も様々です。子ども一人ひとりの心と身体の状態を観察し、家庭と連携して健康な生活を支援することを目指します。

11/21 (土)

③ 当たり前と思っていた環境(あそび)をみつめなおす

子ども教育学科

渡邊 由恵 講師

子どもは、環境と出会うことで心を揺さぶられ、その環境に主体的に関わろうとします。心揺さぶられる体験は子どもの中に定着し、次への活動の原動力となります。子どもが安心して夢中になれる環境「ひと・もの・こと」について、子どもの視座から捉えなおしてみましょう。

11/28 (土)

④ 保育者のキャリア形成論～本学が育てる保育者とは～

基礎教育センター

大西 純一 特任教授

普段接する機会があまりない、一般企業、産業界、職種について、日本の現状と今後を、経済、歴史、エンプロイアビリティ(雇用されうるべき能力)の観点から説明し、あわせて、幼児教育プロフェッショナルの育成に必要な考えを解説します。

12/5 (土)

⑤ 乳幼児教育におけるインクルーシブ教育とは何か?

子ども教育学科

阿部 敬信 教授

これまでの統合教育(インテグレーション)とインクルーシブ教育は何が違うのでしょうか。そして、乳幼児教育におけるインクルーシブな保育実践とは?子どもの多様な実態を認め合い、個々のニーズに応じた実践をともに探っていきましょう。

12/12 (土)

⑥ 病弱児・医療ケア児の現状と対応

子ども教育学科

猪狩 恵美子 教授

小児医療の進歩によって難病・慢性疾患の子どもの9割は通常の学校教育の場で学んでいます。学校における理解と配慮を充実させるため、子ども・家族の願い・ニーズを受け止めた幼児期・学齢期の学校生活について考えましょう。

12/19 (土)

⑦ ICF(国際生活機能分類)から子どもの特別な教育的ニーズを探る

横浜国立大学 教育学部

徳永 亜希雄 教授(予定)

学校教育課程 特別支援教育コース

ICF(国際生活機能分類)から子どもの特別な教育的ニーズを探る(内容は、現在調整中です)

12/19 (土)

閉講式 本セミナーを振り返る

子ども教育学科主任

鐘ヶ江 淳一 教授

【新型コロナウイルスへの対応について】

本学の新型コロナウイルスへの対応については、ホームページで随時更新しています。新型コロナウイルスの感染状況等により、受講者数を制限する場合や本セミナーをやむを得ず中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。